

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第3号 令和4年6月23日(木)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス
広田小HP QRコード



いのちをみつめる日 子どもたちとともに「丁寧に生きる」について考えました

6月も中旬に入り雨の日が多くなりました。子どもたちは雨にも負けず頑張っています。

さて、6月は例年いのちを見つめる強調月間になっています。本年度は、地域の皆様への学校公開については実施を見送りましたが、保護者の皆様による道徳の授業参観は感染症対策を行いながら実施することができました。ご協力ありがとうございました。

6月1日の「いのちを見つめる日」には校長講話を行いました。今回の講話は「命を大切にすることというのは丁寧に生きること」というテーマで話をしました。(裏面に一部掲載)

6月は避難訓練等いのちを大切にするために、子どもたちは知識やスキルを学ぶ学習も行っています。特に、日々の徒歩登校は、自分で考え、判断し、行動するという安全に対する自立的な実践により、自分の命を守るための知識とスキルが身につけてきています。また、修学旅行に行った6年生は、長崎で平和や命の尊さについて学んだり、島原で災害の怖さ、災害からの復興と、地域の人々の命をまもるための努力や工夫について学んだりしました。

命を見つめる「6月」は、自分の行動や言葉を振り返り、丁寧に生きることの大切さについて実践や現場での体験等を通して学んでいます。



本物の笑顔のために (その2)

徒歩登校は「ライフスキル」を身に着ける大切な時間

徒歩登校、通学路で学ぶことはたくさんあります。徒歩登校は、これから成長に応じて、自立して生きていくための「ライフスキル」(自分の命を守る知識と技術)を身に着けるための大変重要な時間です。子どもたちはがんばっています！

1 体力

200日×6年＝1200日の徒歩登校 この継続こそが力です。 たくましく生きていく土台になります。

2 規則遵守力

交通ルールを学び、実践の中で、危険を察知しながら安全について経験を通して学習します。

3 備えの力

「雨が降ったら傘をさす」当然のことだと思うのですが…(「雨が降ったら車」と答える児童もいます)

天気予報を見て雨に備えるという日々の経験は、課題に対し「準備が大切」という課題解決力の土台に強くつながっています。

4 自己理解、他者理解につながるコミュニケーション力

朝、見守りの方々とあいさつを交わし、コミュニケーションについて学んでいます。また、登校班では、子ども同士の関係において、すぐに答えの出ない課題にぶつかることがあります。登校班は異年齢集団であり、まさにこの課題と対峙します。試行錯誤、紆余曲折ありながらも子どもたちは「主張と折り合い」を学び、自己理解、他者理解とともに、しなやかに生きていく力を育んでいます。

子どもたちはこれから未来に向けて、それぞれの個性に応じた「自立」というテーマのもと生きていきます。自立して生きていくためには「ライフスキル」を身につけていく必要があります。「雨でぬれるかも…」という心配の思いは理解します。しかし、そのとき「雨でぬれたらタオル」「雨が降るから傘、長靴」という自分でできることを教えていくことも身近な大人の大切な役割ではないでしょうか。「徒歩登校」を応援しています！

*病気やケガなどで車による送迎が必要な場合は、校門付近等、登校中の児童に十分注意してください。



今日は「いのちを見つめる日」です。

私は、一つしかない命を大切に生きていくという勉強が大好きです。かけがえのない命を大切に生きていくとはどういうことなのか学び続けています。普段のちょっとした出来事の中に、この人は命を大切にしている人だなと思うことがあります。そこで、ある出来事を通して、私が感じたこと思ったこと考えたことをみなさんに話します。

「丁寧に」という言葉を知っていますか？ 学校やうちでよく言われる言葉ではないでしょうか。

今年もコロナ対策もあって「丁寧に」ということを私は意識しています。そこで「命を大切にすることは丁寧に生きること」というお話をします

（「丁寧に」についてのエピソード）

みなさんはコーヒーという飲み物を知っていますか？ 子どもはあまり飲みませんね、苦いですからね。

私はコーヒーが大好きです。だから、おいしいコーヒーを飲むために、おいしいコーヒーを入れてくれるお店に行きます。そこではお店の人が丁寧にコーヒー豆を選び丁寧に豆を焼き丁寧に粉にします。この丁寧はまだまだ続きます。次は丁寧にお湯を用意します。そして、いよいよコーヒーの粉にお湯を丁寧に時間をかけて入れていきます。

このコーヒー屋さんの丁寧はまだまだ続きます。

丁寧に笑顔であいさつをします。丁寧に掃除をします。テーブルや椅子、そしてお店はととてもとても古いのですが丁寧に掃除してあり、そして、壊れたところを丁寧に修理してあります。コーヒーカップやガラスのコップは丁寧に磨いてあり、いつもピッカピカです。テーブルの上にコーヒーを置くときはガチャンという音はしません。丁寧に静かにおいでくれます。

ある時、このコーヒー屋さんのマスターに「おいしいコーヒーありがとうございます」「いつも丁寧ですね」とお礼をいったら「この一杯のコーヒーが私の命をかけた夢ですから」とおっしゃいました。

私はコーヒー一杯に命をかけるってすごいなと思いました

このコーヒー屋さんから私が学んだことは、命を大切に生きていくということは丁寧に考え、言葉を丁寧にし、丁寧に行動すること。夢をかなえるためには丁寧に勉強し、丁寧に実践していくこと。そして、丁寧に生きる力や習慣を身につけることがとても大切だということです。

このコーヒー屋さんのマスターは亡くなりました。でも、このお店のおいしいコーヒーは今でも飲むことができます。そのわけは「丁寧に生きることが大切だ」ということをマスターから学んだお弟子さんが、丁寧に生きて、丁寧にコーヒーをいれているからです。



皆さんには夢があると思います。その夢を実現させるために、まず、何よりも大切なことは自分の命、たった一つしかない命を大切にすること、丁寧に生きることです。家族や友達の命のことを大切に思い、考え、行動することです。

いじめなどはもってのほかです。絶対にいけません。ラインなどスマホ等をつかったいじめはとてもいけないことです。人としてとてもはずかしいことです。丁寧な生き方ではけっしてありません。丁寧な生き方とはまったくの逆のことです。

ルールを守らない生き方もいけません。命を粗末にしてしまいます。時々、廊下を走っている人もいますよ。スピード違反です。ルール違反をする「くせ」はいずれ大きな事故につながりますよ。廊下を走ったらやりなおし、やり直しは丁寧な生き方につながります。まちがったらやり直しができる心が柔らかい人であってほしいと思います。

丁寧に生きる力は いずれ夢をかなえるための大切な力になります。

あらためて今日から 丁寧にいろんなことを頑張っていきましょう。

私がんばります

私たち教師も「丁寧に生きる」ということを子どもたちとともに学び、実践していきます。

1学期もあと一か月です。まずは、あいさつや履物そろえから丁寧に！